

●競争力のある地域経済社会の再構築

○国際コンテナ貨物及び原材料、エネルギー資源等の海上輸送を効率化し、物流コストを削減する。

・海上輸送の効率化

おのみちいどぎ

尾道系崎港 多目的国際ターミナル整備事業

事業促進

尾道系崎港は、原木輸入量が全国で上位にあり、港全体の輸入量の約94%を占めている木材拠点港です。

現在、大型の多目的国際ターミナルが無いいため、大型の原木運搬船は沖合の投下バースで一旦貨物を降ろし、そこから筏による二次輸送を行っており、非効率な輸送形態となっています。

また、二次輸送を行うことで木皮が流出し、周辺海域環境に対して影響が発生しています。

本事業により、周辺海域環境への影響の軽減が図られるとともに、物流コストの削減及び立地企業の競争力確保につながる木材拠点港としての一層の機能強化が図られるため、多目的国際ターミナルの整備を促進します。

位置図



尾道系崎港

【原木投下状況】



期待される整備効果

本事業により、二次輸送が解消され、効率的な輸送形態になります。それによって、物流コストの削減及び立地企業の競争力の確保が図られ、木材拠点港としての機能強化が図られます。

また、二次輸送に伴う木皮流出も解消され、周辺海域環境への影響の軽減が期待されます。